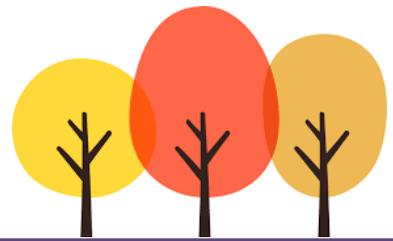


川根本町 図書室だより

10月

2021年10月号



- ・文化会館図書室(小長井)
 - ・山村開発センター図書室(上長尾)
 - ・移動図書館車やまびこ号:川根本町内7コース
- TEL:0547-59-3106(文化会館)
TEL:0547-56-2231(山村開発センター)

☆ 開室時間:午前9時~午後5時

☆ 休室日:月曜日・第3日曜日(17日)

☆ やまびこ号巡回コースは



川根フォン、町のホームページでご確認いただけます。
なお、年間予定表は図書室で配布しています。

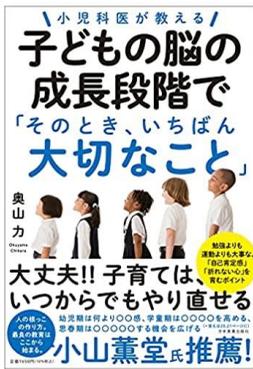
緊急事態宣言の発出状況によっては図書室を休室、やまびこ号を運休する場合がございます。

新 着 図 書

『小児科医が教える子どもの脳の成長段階で「そのとき、いちばん大切なこと」』奥山力著 日本実業出版社

人の根っこの作り方

【教育】 文



「子どもの脳の成長」を理解することで、目の前にいる子どもに合った子育ての方法がわかる。子どもの「自己肯定感」や「折れない心」「挑戦する気持ち」を育むためのポイントを小児科医が紹介。

『高次脳機能障害のリハビリがわかる本』

橋本圭司 著 講談社

健康寿命を延ばす!

【健康】 山



忘れっぽい、やる気がない、怒りっぽい、疲れやすい……。いずれも脳梗塞・脳出血などの脳損傷後に現れる後遺症だが、身体的な不調に比べると本人も周囲も理解しにくく苦しむことが多い。本書では、効果的なりハビリのコツや注意点を徹底解説。障害への理解が深まる実践りハビリの決定版!

『50歳になりました』光浦靖子著 文藝春秋

50歳。カナダ留学にトライ!

【エッセイ】 文

40代になって仕事がゆる~りと減り始め、一大決心して大好きな部屋を引き払って留学する予定だった2020年4月。しかし、緊急事態宣言が発出されて、留学を断念、家なき子の仕事なき子になってしまって……。生き辛さを感じているさまざまな世代の人たちがクスッと笑って、「あなたもですか」と共感しつつ元気をもらえるエッセイ集。



『マンガ論語と孔子①・②』

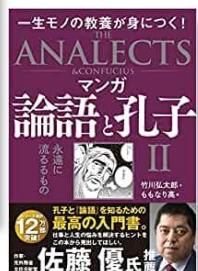
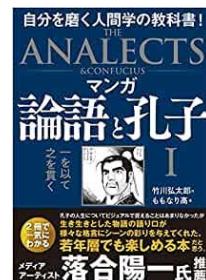
竹川弘太郎 作 ももなり高 画 飛鳥新社

論語の入門書

【古典】 山

渋沢栄一の『論語と算盤』の原点! 最強の古典に学ぶ!

自分を磨く“人間学”の教科書がマンガで登場!!



文化会館図書室所蔵

山村開発センター図書室所蔵

●『貝に続く場所にて』 石沢麻依 著 講談社

ドイツの学術都市に暮らす私の元に、2011年3月の震災で
行方不明になったはずの友人が現れる。コロナ禍が影を落
とす異国の街に、9年前の光景が重なり合い…。静謐な祈り
をこめて描く鎮魂の物語。芥川賞受賞作。

小説

●『彼岸花が咲く島』 李琴峰 著 文藝春秋

記憶を失くした少女・宇実が流れ着いたのは、ノロと呼ば
れる指導者が統治し、男女が違う言葉を学ぶ島だった。宇
実は島の少女・游娜と少年・拓慈と、この島の深い歴史に
導かれていき…。芥川賞受賞作

小説

●『霧をはらう』 雫井脩介 著 幻冬舎

病院に入院中の4人の幼い子どもたちの点滴にインスリンが
混入され、2人が死亡する。逮捕されたのは、生き残った女
児の母親。人権派の大物弁護士らと共に、若手弁護士の伊
豆原は勝算のない裁判に挑む!

小説

●『茶笥の旗』 藤原緋沙子 著 新潮社

大名好みの極上茶を仕立てる御茶師の修業に励む繪。そ
こへ徳川・豊臣決戦近しの報が。茶園を守り、生き抜くには
どちら方につくべきか。女御茶師・繪のひたむきな半生を
描く本格時代長篇。

小説

●『星のように離れて雨のように散った』

島本理生 著 文藝春秋

幼い頃に失踪した父、書きかけの小説、宮沢賢治の「銀河
鉄道の夜」。大学院生の春は、父との記憶を掘り起こすう
ちに、現在の自分の心の形が浮き彫りになっていき…。「私」
をめぐる旅の物語。

小説

●『白光』 朝井まかて 著 文藝春秋

明治5年、絵師になるため故郷の笠間(茨城)を飛び出した
山下りん。己に西洋画の素質があることを知り、工部美術
学校に入学を果たし…。日本人初のイコン画家・山下りん
の波瀾の生涯を力強く描く。

小説

●『ミラーワールド』 椰月美智子 著 KADOKAWA

同じ中学校に通う子を持つ3人の主夫たち。女尊男卑社会
を理不尽に感じながら、妻子を支えようと毎日奮闘していた。
そんななか、ある生徒が塾帰りの夜道で何者かに襲われ…。
男女反転物語。

小説

●『もういちど』 畠中恵 著 新潮社

酔っ払った龍神たちが、隅田川の水をかき回して、長崎屋
の舟をひっくり返したってえ! 水に落ちた若旦那は200年
ぶりの天の星の代替わりに巻き込まれ…。「しゃばけ」シ
リーズ第20弾。

小説



●『おやくそくえほん』

高濱正伸 監修 林ユミ 絵

大人になるための土台として、小学校入学
前後に身につけたい42の習慣を紹介した、
親子で読みたいしつけの絵本。



●『どすこいすしずもう アンマサコ 作
サーモンざくらのひみつ』 講談社

遠いノルウェーからやってきた「サーモンざ
くら」。たどり着いた回転ずし道場では、いろ
いろな国からやってきたすし力士たちが、
サーモンざくらを迎えてくれた。次の日から、
すまうの稽古が始まって…。

おすすめ!

目からウロコの身体法

『魔法のフレーズをとるだけ姿勢がよくなるすごい本』

大橋しん 著 飛鳥新社

姿勢をよくするために絶対にやってはいけないこと…

それは緊張して頑張ることだそうです。大事なものは「ふんわり」とゆらいだままで、「しっかり」と骨で立つこと。そうすれば体も心も「美しく」「疲れにくく」「らく」になる。

『頭の中で小舟が静かに揺れています。』

『歯茎に血液が通い、舌はおもちのようにふっくらしています』等の10の魔法のフレーズをとるだけ、イメージによって体の緊張をゆるめていく方法が紹介されています。

実際ためしたところ、いつも歯をくいしばって口の中を緊張させていることに気が付きました。

10のフレーズ。本当に効果あります! 体がイメージで緩むのはもちろんなこと、私の中で特に驚きだったのは、体が緩むことで心が緩んだこと! 心と体は密接につながっているんですね~(^.^) 図書室スタッフS



(山村開発センター所蔵)